

平成 26 年 12 月期 第 1 四半期決算短信（非連結）

平成 26 年 5 月 20 日

会 社 名 株式会社ミック経済研究所

本社所在都道府県 東京都

本社所在地 東京都港区芝四丁目 7 番 8 号 芝サンエスワカマツビル 10 階

問い合わせ先 責任者役職名 総務部次長

氏 名 村井 則道

T E L (03) 5443-2991

1. 平成 26 年 12 月期第 1 四半期の業績（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

(注) 1. 本四半期決算短信の数値は、監査を受けておりません。

2. 本四半期決算短信の記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	千円	%	千円	%	千円	%
26 年第 1 四半期	31,206	(52.7)	3,770	(-)	3,794	(-)
25 年第 1 四半期	20,441	(△31.1)	△8,141	(-)	△8,125	(-)

	当 期 純 利 益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益 金 額		潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 金 額	自 己 資 本 当 期 純 利 益 率	総 資 産 経 常 利 益 率	売 上 高 経 常 利 益 率
	千円	%	円 銭	円 銭	円 銭	%	%	%
26 年第 1 四半期	3,175	(-)	1,568	35	-	3.0	3.3	12.2
25 年第 1 四半期	△8,384	(-)	△2,405	79	-	△5.3	△4.6	△39.7

(注) 1. 期中平均発行済株式数 26 年第 1 四半期 2,025 株 25 年第 1 四半期 3,485 株

2. 会計処理の方法の変更 無

3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

4. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(2) 財政状態

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	1 株 当 たり 純 資 産 額
	千円	千円	%	円 銭
26 年第 1 四半期	113,628	104,268	91.8	51,490 77
25 年第 1 四半期	176,940	159,265	90.0	45,700 30

(注) 期末発行済株式数 26 年第 1 四半期 2,025 株 25 年第 1 四半期 3,485 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
26年第1四半期	△10	36	—	85,796
25年第1四半期	△895	90	—	160,684

2. 平成26年12月期の業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期 末	年 間
	千円	千円	千円				円 銭	円 銭
通 期	112,500	4,000	3,000	—	—	—	0 00	0 00

（参考）1株当たり予想当期純利益金額（通期） 1,481円48銭

（注）1株当たり予想当期純利益金額（通期）は、第1四半期末現在の発行済株式数が期末まで変動しないと仮定した予想期中平均発行済株式数をもとに計算しています。

第 24 期 第 1 四半期報告書

(平成 26 年 1 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

会社名(定款上の商号) 株式会社ミック経済研究所
 英文名(英文商号) MIC RESEARCH INSTITUTE LTD.
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 有賀 章
 本店の所在の場所 東京都港区芝四丁目7番8号
 芝サンエスワカマツビル 10階
 電話番号 03-5443-2991
 連絡者 総務部次長 村井 則道

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	第 24 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成 26 年 1 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日	自平成 26 年 1 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日	自平成 25 年 1 月 1 日 至平成 25 年 3 月 31 日
売 上 高		31,206	31,206	20,441
売 上 原 価		19,889	19,889	21,116
売上総利益又は総損失(△)		11,316	11,316	△674
販売費及び一般管理費		7,545	7,545	7,466
営業利益又は損失(△)		3,770	3,770	△8,141
営 業 外 収 益		23	23	16
経常利益又は損失(△)		3,794	3,794	△8,125
税引前四半期(当期) 純利益又は純損失(△)		3,794	3,794	△8,125
法人税・住民税及び事業税		618	618	259
四 半 期 (当 期) 純 利 益 又 は 損 失 (△)		3,175	3,175	△8,384

項 目	期 別	第 24 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成 26 年 1 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日	自平成 26 年 1 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日	自平成 25 年 1 月 1 日 至平成 25 年 3 月 31 日
期中平均発行済株式数		2,025 株	2,025 株	3,485 株
1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益 又 は 純 損 失 (△)		1,568 円 35 銭	1,568 円 35 銭	△2,405 円 79 銭
潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益		一円一銭	一円一銭	一円一銭

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類 \ 期別	第24期 第1四半期 自平成26年1月1日 至平成26年3月31日	当期累計 自平成26年1月1日 至平成26年3月31日	前年同期累計 自平成25年1月1日 至平成25年3月31日
調査・出版事業	31,206	31,206	20,441
合計	31,206	31,206	20,441

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

科目 \ 期別	第23期末 (平成25年12月31日現在)	第24期 第1四半期末 (平成26年3月31日現在)
(資産の部)		
I 流動資産		
1. 現金及び預金	85,770	85,796
2. 売掛金	11,404	18,305
3. 製品	573	433
4. 貯蔵品	91	90
5. 前払費用	1,358	1,208
6. 仮払税金	—	376
7. 短期繰延税金資産	575	—
8. 未収還付消費税等	50	—
9. 貸倒引当金	△68	△68
10. その他	1,254	—
流動資産合計	101,010	106,142
II 固定資産		
1. 有形固定資産		
(1) 工具器具備品	668	2,356
有形固定資産合計	668	2,356
2. 無形固定資産		
(1) 電話加入権	424	424
(2) 実用新案権	521	488
(3) 商標	146	142
無形固定資産合計	1,092	1,055
3. 投資その他の資産		
(1) 敷金・保証金	2,210	2,210
(2) 長期繰延税金資産	1,863	1,863
投資その他の資産合計	4,073	4,073
固定資産合計	5,833	7,485
資産合計	106,843	113,628

科 目	期 別	第 23 期 末	第 24 期
		(平成 25 年 12 月 31 日現在)	第 1 四半期末 (平成 26 年 3 月 31 日現在)
(負債の部)			
I 流 動 負 債			
1. 買 掛 金		326	1,253
2. 未 払 金		297	2,673
3. 未 払 費 用		2,743	1,923
4. 未 払 法 人 税 等		84	84
5. 未 払 消 費 税 等		—	1,089
6. 預 り 金		2,298	1,083
7. 未 払 配 当 金		0	0
8. 賞 与 引 当 金		—	1,251
流 動 負 債 合 計		5,751	9,359
負 債 合 計		5,751	9,359
(純資産の部)			
I 株 主 資 本			
1. 資 本 金		53,000	53,000
2. 資 本 剰 余 金 資 本 準 備 金		632	632
資 本 剰 余 金 合 計		632	632
3. 利 益 剰 余 金			
(1) 利 益 準 備 金		12,618	12,618
(2) そ の 他 利 益 剰 余 金			
別 途 積 立 金		15,000	15,000
繰 越 利 益 剰 余 金		19,842	23,018
利 益 剰 余 金 合 計		47,460	50,636
株 主 資 本 合 計		101,092	104,268
純 資 産 合 計		101,092	104,268
負 債 純 資 産 合 計		106,843	113,628

(注)

項 目	期 別	第 23 期 末	第 24 期
		(平成 25 年 12 月 31 日現在)	第 1 四半期末 (平成 26 年 3 月 31 日現在)
発 行 済 株 式 総 数		2,025 株	2,025 株
1 株 当 たり 純 資 産 額		49,922 円 42 銭	51,490 円 77 銭

(4) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

項 目	株主資本						株 主 資 本 合 計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		利 益 剰余金 合 計	
		資 本 準 備 金	利 益 準 備 金	その他利益剰余金			
				別 途 積立金	繰 越 利 益 剰余金		
平成 26 年 1 月 1 日残高	53,000	632	12,618	15,000	19,842	47,460	101,092
第 1 四半期中の変動額							
第 1 四半期純利益	—	—	—	—	3,175	3,175	3,175
第 1 四半期中変動額合計	—	—	—	—	3,175	3,175	3,175
平成 26 年 3 月 31 日残高	53,000	632	12,618	15,000	23,018	50,636	104,268

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法
各四半期の減価償却費は、年間発生見積額の 1/4 に相当する金額を計上しております。
2. 消費税等の会計処理
仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ流動負債の未払消費税等として表示しております。
3. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

なお、当第 1 四半期の貸借対照表及び損益計算書並びに株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

II 第24期 第1四半期（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）の業績の概況

平成26年1-3月（第1四半期）の国内景気はGDP前期比実質1.5%増と、平成25年中の1.0%増ベースから上向いてきております。大手企業や輸出型企業の設備投資増加と消費税アップ前の駆け込み需要が寄与しています。

当社のドメインとするICT分野においても、一部の大手法人、中央省庁、大手銀行、グローバル企業で基盤システムの見直しや、新規事業開拓のための大型システム開発案件が発生してきております。また、OSの製品サポート終了に伴うパソコンの買い替え需要もピークを迎えました。

ICT市場の回復傾向と1-3月期の年度末消化予算から、平成25年の後半から見えていたマーケティングニーズが顕在化してきております。このため、当社第1四半期の売上は前年同期の31.1%減の反動もあり、52.7%増と大幅に伸びております。

これを事業別に見ますと、自社企画資料につきましては15.2%増と好調でした。2013年中に発刊した資料を1-3月期の年度末予算消化で購入する案件が目立ちました。また、自社企画資料に営業ツールになるようなデータを盛り込む工夫をすることで売上が拡大した資料もありました。

一方、受託調査の売上につきましては189.5%増と超大幅な伸び率となりました。前年同期が58.5%減と大幅に減少した反動もありますが、失った長期固定客の大型案件に替わるべき案件獲得の努力が1年掛けて実を結んできたということです。

これらの結果、当第1四半期の売上高につきましては、31,206千円（対前年同期比52.7%増）となりました。利益につきましては、営業利益3,770千円（前年同期営業損失8,141千円）、経常利益3,794千円（前年同期経常損失8,125千円）、四半期純利益3,175千円（前年同期四半期純損失8,384千円）と大幅黒字となりました。原因は、経費削減努力と、売上高の大幅増加によるものです。

お陰様で、24年間毎年実施している社員昇給と共に、創業24年目にして初めてベースアップを実現することができました。但し、昨年の第1四半期の大幅赤字決算の責任を取って、2013年4月から実施している代表取締役社長の33%年俸カットについては、通期業績回復を期すために一つの“戒め”として本年12月まで続けることとしました。

III 第24期通期の売上高及び利益の予測について

第24期通期の売上高及び利益の予測につきましては、売上高は第23期決算発表時点の112,500千円（前年比10.0%増）と変わりはありません。利益につきましては、経常利益2,500千円を、4,000千円（前年比9,888千円増）、当期純利益1,500千円を3,000千円（前年比27.0%減）に修正します。

IV 資金及び借入金の状態

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別
	第24期 第1四半期 〔自平成26年1月1日 至平成26年3月31日〕
現金及び預金の増減額	26
現金及び預金の四半期首残高	85,770
現金及び預金の四半期末残高	85,796

(主な増減理由)

売掛債権の増加による6,901千円の減少、未払金の増加による2,376千円の増加、預り金の減少による

1,215千円の減少等が主な要因です。

(2) 短期借入金の増減

該当事項はありません。

(3) 長期借入金の増減

該当事項はありません。

V その他

該当事項はありません。